

【第 35 回武庫川流域委員会 資料】

2006/2/23 松本 誠

河川対策の検討 討議の論点

1. 本日の議論の段階（いま何を討議しているか？）

- ・別紙フローチャート参照
- ・河道計画の検討資料が出たことによって、流域対策、河道、貯留施設の 3 つの分担を総合的に議論できる状況になった

2. 本日の議論の論点

（1）河道分担量の検討

- ・ 河床掘削
- ・ 低水路の拡幅
- ・ 高水敷の切り下げ
- ・ 引き堤
- ・ 堤防の嵩上げ

環境、利水、まちづくり、農業...等との”折り合い”から妥当性、または限度を検討する

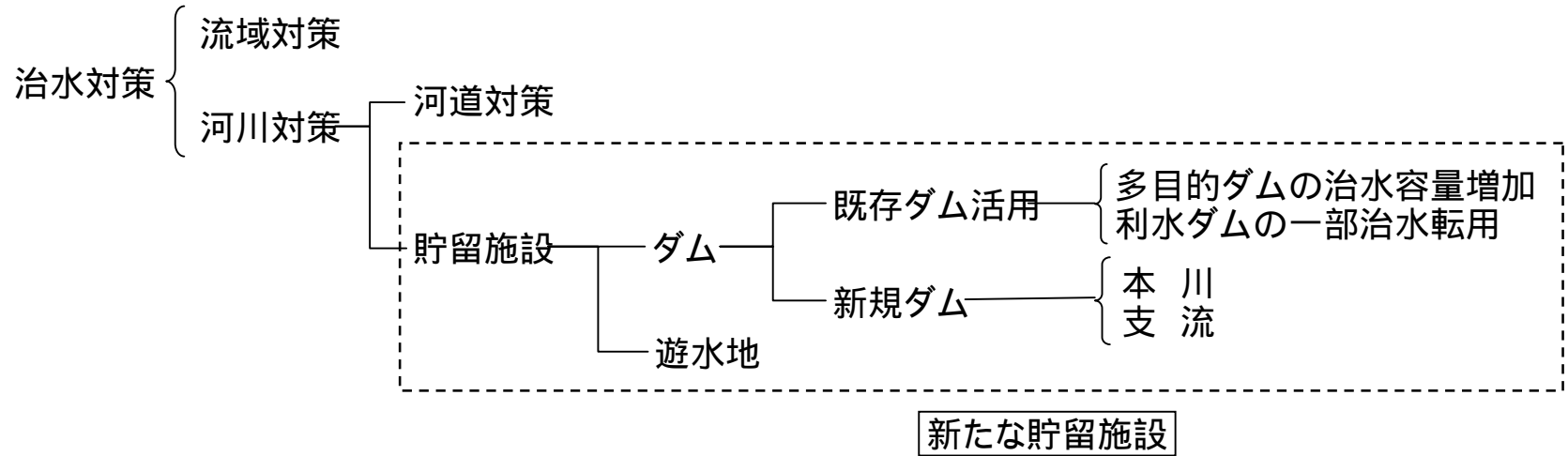
（2）新規貯留施設（洪水調節施設）による分担量の検討

- ・ 遊水地
- ・ 利水ダムの治水活用
- ・ 新規ダムの建設
 - ・ いずれの方法または組み合わせによって、流量負担の不足分を分担させるべきか
 - ・ それぞれについて、環境、利水、まちづくり、農業等との折り合いを考える
 - ・ 新規ダムの可能性と妥当性の検討（旧・武庫川ダム計画の可否等の検討）

（3）流域対策の分担量（本日の議論としては持ち越し）

- ・ 本日の県の検討資料では、流域対策の分担量は 100 m³/s の効果量として算定している
- ・ 基本方針、整備計画の各レベルでの分担量は、WTでさらに検討中

武庫川総合治水における治水対策の枠組み

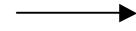


ダムの有無

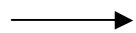
基本方針

整備計画

×



×



×

凡例

○ : 位置付ける

× : 位置付けない